第 12 講 【系統地理編】村落・都市，都市・居住問題

PART5 日本の都市・居住問題

Chapter 1 日本の都市・居住問題

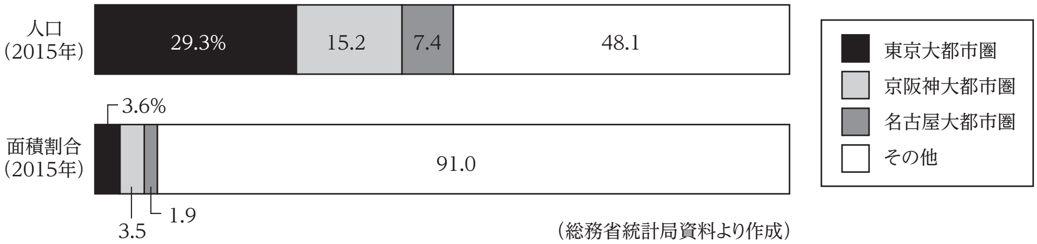
目標
日本の大都市における，都市問題を理解しよう。
地方都市の駅前で，シャッター通りが見られる理由を理解しよう。

1 大都市における都市問題

・現代の日本では，**東京・名古屋・京阪神**の**三大都市圏**に，人口だけでなくさまざまな**都市機能**が集中。特に**東京大都市圏**では，中枢管理機能や金融，外国企業の日本支社が集まり，**一極集中**の状態となっている。

→現代では，**人口**［　　　　］によって通勤時の混雑，住環境の悪化，**地価高騰**などが問題となっている。

・また，過度に機能が集中することで，東京で**災害**が起きると，全国の機能がダメージを受ける可能性がある。



日本の大都市圏の人口と面積の割合

混雑するプラットホーム

東京都心部

2 都市圏郊外における都市問題

・高度経済成長期以降，都市圏の拡大により，**都市郊外**でも**都市化**が進んだ。

→都市開発が計画的に行われ，各地に〔　　　　　　　　〕と呼ばれる**巨大な住宅地区**が建設された。ヨーロッパやアメリカ合衆国のニュータウンと異なり職場は移転しなかったため，都心部への通勤者が多く〔　　　　　　　　〕とも呼ばれている。

千里ニュータウン（大阪府）

・ニュータウン開発時の入居者は20～30代の若い世帯が中心であり，人口増加率も高かったが，21世紀に入り，**老年人口割合**が急激に上昇。建物の**老朽化**も進んでいる。

3 地方都市における都市問題

・現代の日本では大都市と，それ以外の地方との**経済格差**が顕著であり，**地方都市**では産業基盤が弱まり，経済が停滞している。

・〔　　　　　　　　〕の進展により，郊外の幹線道路沿いに**ロードサイド型の店**が出店，**オンラインショッピング**の普及もあり，地方都市中心部にある，地元資本の経営が圧迫されている。

・その結果，駅前の旧来の商業地区が衰退し，〔　　　　　　　　〕が増加している。

シャッター通り（沖縄県）

まとめ

過度に人口が集中することにより，通勤時の混雑，住環境の悪化，地価高騰などが発生。
ロードサイド型の店舗の出現や，オンラインショッピングの普及により，地元資本の店舗が衰退した。

Chapter 2　日本の都市・居住問題への取り組み

目標　都心部の居住問題に対してとられた対策を理解しよう。
地方の居住問題に対してとられた対策を理解しよう。

1　都心部の再開発

みなとみらい 21（神奈川県）

・日本では，**高度経済成長期以降**，**三大都市圏**（東京・名古屋・京阪神）に人口・都市機能が集中し，過密などの**都市問題**が顕在化。

・**住環境の悪化**や，**地価の高騰**を背景に一時は都心からの**人口流出**が起こったが，バブル経済崩壊による**地価下落**や**規制緩和**により 1990 年頃より〔　　　　　　〕事業が開始される。

→都心部では，**タワーマンション**など新しい集合住宅が多く建設される。

→臨海部では〔　　　　　　　　　　　　〕**開発**の実施。造船所の工場跡をオフィス街や商業地区，集合住宅地区へと再開発を行う。横浜のみなとみらい 21 など。

・その結果，都心部に**若年層**や**高所得層**が再流入，人口が増加し**ジェントリフィケーション**が見られる。

・現在，東京都の**人口増加率**は高く，若い世代も多いため**出生率**も全国平均を上回っている。

2　都市圏郊外の高齢化への対策

・高度経済成長期につくられた**郊外**の〔　　　　　　　　　　　　〕では，21 世紀に入り**高齢化**が急速に進行。

→**医療施設**や〔　　　　〕**施設**の充実，建物の〔　　　　　　　　　　　　〕化などの対策が喫緊の課題。

・今後は集合住宅の間取りを工事によって変え，一戸当たりの面積を広くするなど**人口減少に対応したまちづくり**が必要とされる。

3 地方の活性化

古民家を改装したオフィス

・地方では，若年層の流出により**人口減少**が課題となる。一部の地域では**少子高齢化**が過度に進み，〔　　　　　〕化が深刻である。
→〔　　　　　　　　　〕や〔　　　　　　　　　〕により，居住者を増やす施策の実施。
→**U ターン**：地方から大都市圏へと流出した人口が，再び出身地の地方へと戻ること。
→**I ターン**：大都市圏の出身者が新たに地方圏へと移住すること。

・その際，〔　　　　　〕を活用して，都心の企業が地方に**サテライトオフィス**を設置したり，**テレワーク**などで地方にいながらオンラインで働けるようにしたりする取り組みも進められている。

・また，中心市街地に必要機能を集中させる**コンパクトシティ化**や，交通インフラの整備など，さまざまな対策が行われている。
→交通手段を持たない住民への配慮や不採算により撤退した交通機関の代替として，〔　　　　　　　　　〕を活用する都市も。

まとめ
都心部・臨海部を中心に再開発が行われた結果，人口が再び流入した。
ICT を活用した企業のオフィス誘致や，街のコンパクトシティ化など。

第12講　PART5　確認問題

1 東京に人口や機能が一極集中することで生じる問題として，**正しくないもの**はどれか。

① 住環境の悪化
② 地価の暴落
③ 災害発生時に与える影響の大きさ
④ 通勤時の混雑

2 日本の都市圏郊外において，都市化が進んだのは何年代からか。

① 1940 年代　② 1960 年代
③ 1980 年代　④ 2000 年代

3 日本の都市圏郊外について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 都市圏の拡大により，高度経済成長期に郊外でも都市化が進んだ。
② 都市開発が計画的に行われ，各地にニュータウンが建設された。
③ 都心部への通勤者が多い郊外の都市をベットタウンという。
④ 現在のニュータウンの中心世代は 20 ～ 30 代である。

4 日本の地方都市における都市問題について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 大都市との経済格差が大きく，地方都市では経済が停滞している。
② 幹線道路沿いのロードサイド店の出店で，地元資本の経営が圧迫されている。
③ 駅前の旧来の商業地区が衰退し，シャッター通りが増加している。
④ 地方都市ではモータリゼーションの進展がほとんど見られない。

5 1990 年頃より，都心部の再開発のきっかけとなる地価の下落を引き起こした出来事は何か。

① 高度経済成長期の終焉　② 第 1 次オイルショック
③ 第 2 次オイルショック　④ バブル経済崩壊

6 都心部の再開発と人口動態について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 現在都心部には低所得層が流入し，人口が増加している。
② 横浜市では，ウォーターフロント開発によりみなとみらい 21 が建設された。
③ 都心部では，タワーマンションなど新しい集合住宅が多く建設されている。
④ 現在，東京都の出生率は全国平均を上回っている。

7 都市圏郊外の課題などについて述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 郊外のニュータウンの多くは第二次世界大戦直後につくられたため，老朽化が進んでいる。
② 郊外のニュータウンでは高齢化が進み，バリアフリー化が急がれている。
③ 郊外のニュータウンでは，医療施設や介護施設の充実が課題の一つである。
④ 集合住宅においては一戸当たりの面積を広くすることなどが求められている。

8 地方の現在について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 地方では，人口減少により経済が縮小し，空き家や空き店舗が増えている。
② 生活に必要な諸機能を近接地に集めたコンパクトシティを目指す地方都市もある。
③ 大都市圏に住む人が，出身地とは異なる地方へと移住する U ターンが模索されている。
④ 地方にいながらオンラインで働けるようにする取り組みが進められている。

第12講　PART5　確認問題 解答

1 解答：②

東京に人口や機能が一極集中することで**地価高騰**が顕著になり，マンションなどの高値が続いている。

2 解答：②

高度経済成長期に多くの人口が都市へ流入し，その結果，都市圏郊外において都市化が進んだ。

3 解答：④

ニュータウンの多くは 1960 ～ 70 年代に建設された。当時 20 ～ 30 代の若者が多く流入したため，現在のニュータウンの中心世代は **60 ～ 70 代の高齢世代**。ニュータウンでは施設の老朽化と，人口の高齢化が問題となっている。

4 解答：④

公共交通が限定的な地方都市では，**モータリゼーション**が進展している。幹線道路沿いの大型店に客足が流れた結果，駅前から活気がなくなっている。

5 解答：④

1990 年代初頭の**バブル経済崩壊**により，都心部の地価が大きく下落した。

6 解答：①

都心部では再開発により**若年層や高所得層が再流入**し，人口が増加する**ジェントリフィケーション**が見られる。

7 解答：①

郊外のニュータウンの多くは，高度経済成長期の **1960 ～ 70 年代**につくられた。

8 解答：③

大都市圏出身者が地方圏へと移住することを **I ターン**といい，地方から大都市圏に出た人が出身地に戻ることを **U ターン**という。